

2008年10月25日、地域経済番組「せとうちLife&Biz」（テレビせとうち）の、子育てにやさしい企業の取り組みを取材する「未来ネット」というコーナーで株式会社オクノが紹介されました。



株式会社 **オクノ**

『ITとフレックスで子育て支援』

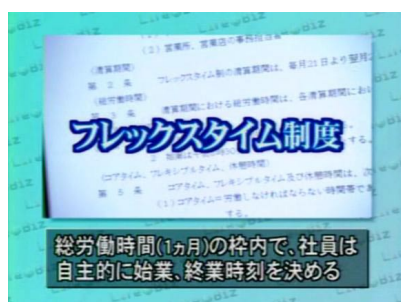


◆株式会社オクノでは

業務のIT化をすすめるとともにフレックスタイム制度を導入することで子どもの急な病気などにも対応しやすい柔軟な働き方が可能になっています。

オクノは今年7月、子育て支援に積極的な企業として岡山県が認定する「おかやま子育て応援宣言企業」に登録されました。

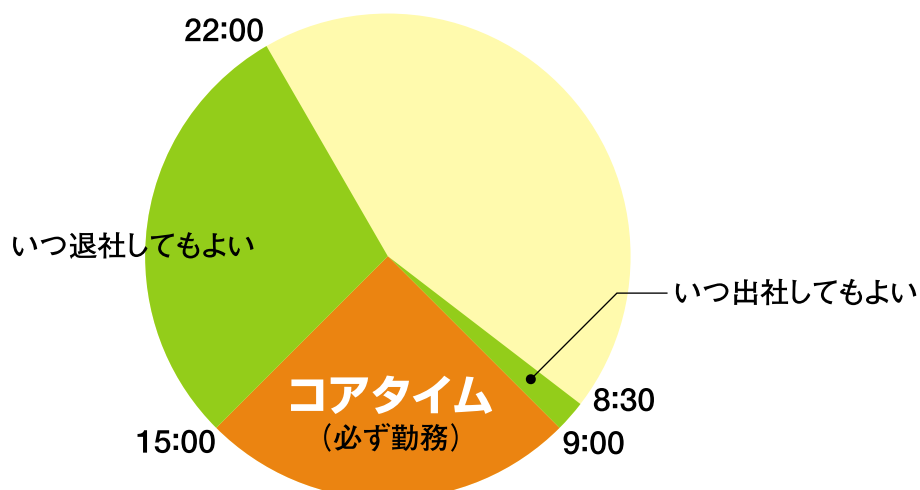
実際、オクノの社員142人のうち、約3割の46人が中学生以下の子育て中です。オクノで子育て中の社員に特に好評なのが、一部社員に去年導入されたフレックスタイム制度です。



◆フレックスタイム制度とは

あらかじめ決められた総労働時間（1ヶ月）の枠内で、社員が自主的に始業・就業の時刻を決めて働く制度です。

オクノでは、午前9時～午後15時までをコアタイム（必ず出勤しなければならない時間帯）と定め、その前後の時間（8：30～22：00）の使い方は社員に委ねています。



フレックスタイム制度により、社員は自分で自分の仕事を管理しなければなりません。社員の多くは制度を活用して仕事と育児・介護を両立させるとともに自身の趣味なども楽しんでいます。



◆フレックスタイム制度とIT化

オクノでフレックスタイム制度が浸透した背景に、石材業界では異端ともいえるIT先進企業であるという土壌がありました。

そもそも墓石は全国それぞれの地域ごとに形・大きさ・石の種類まで異なるため量産による全国展開が困難というのが業界の常識でした。

そんな中、オクノは墓石デザインの標準化に挑み、受注から納入までの方法をコンピューターで一元管理するORS（オクノ小売支援）システムを8年前に構築しました。

これによりフランチャイズによる墓石販売の全国展開が可能となり、あわせて業務のIT化もすすみました。

※ここでいう標準化とは大量生産のためのものではなく、需要の80%をカバーできるという意味での標準化です

業務のIT化により、それぞれの社員が自分の役割をこなせば、担当者がいなくても作業をすすめることができるようになりました。

また部署によって業務が集中する時期が異なるため、忙しくないときには早く帰り、忙しいときには集中的に仕事をすることで時間と労力の合理化も図っています。

加えて、オクノでは社員のITに関する技能検定を奨励するなど、会社をあげて社員のITレベルアップを目指しています。

このような業務のIT化を推進する体制が、結果としてフレックスを浸透させる要因となっているようです。



社長：家庭がうまくいったその結果、仕事にも力が注げ、相乗効果が期待できるのです。

仕事と家庭の良い関係が作れなければ真の企業の発展はないと考えます。

**オクノのお墓作りは、家族の絆をみつめること。
そしてオクノで働く社員の家族の絆は、業務のIT化が支えています。**

「せとうちLife&Biz」2008年10月25日放送分

番組の制作・著作:テレビせとうち

◆「せとうちLife&Biz」・・・テレビせとうち 毎週土曜 朝9:00～9:40

<http://www.webtsc.com/prog/LifeBiz/>